

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-65	高等学校	国語	現代の国語	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	現国 717	探求 現代の国語		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、高等学校学習指導要領「現代の国語」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある目標と「現代の国語」の目標の両方の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、思考力・判断力・表現力を育成しつつ国語力を高められるよう、題材の選定と学習内容の構成・展開に留意した。

## 2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、以下の点を編修の基本方針とした。

### ①指導しやすい単元構成

多様な教育現場の学力レベルと指導形態に対応できるよう、教材を大きく「体験と思索」「評論」「評論解析」「実社会」の4つの単元に分類し、バランスよく配置した。

### ②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとまり・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。各教材の末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題から成る「学習の手引き」を設けるとともに、各教材における最終的な言語活動の到達目標を示す「活動」を設定し、学習の指針となるようにした。

### ③教材の理解と主体的な言語活動

学習者の理解力養成のため、各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を必ず設けた。さらに、主体的な学びに誘うための言語活動を各教材に設けるとともに、各評論単元の第2教材では、評論学習を通じて得た知見を生かし、評論の内容理解をさらに深めるための問いおよび参考の文章を「〈知〉の深化」として設定・配置した。

## 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
● 「評論」6単元 (12教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、多彩な内容を持つ12教材を配した(第1号)。 ②日本の日常生活用具を通して人の豊かさを考える教材「ほどほどのデザイン」を配した(第5号)。 ③生命を考える教材「サイボーグとクローン人間」を配した(第4号)。 ④環境を考える教材「経済の論理/環境の倫理」を配した(第4号)。 ⑤個人と社会の関係を考える教材「遅れてきた『私』」を配した(第3号)。 ⑥思想の形成や社会の形成を考える教材「思想の出自」を配した(第3号)。	①評論Ⅰ～Ⅵ ・25～55 ・65～85 ・99～119 ・151～181 ・201～219 ・235～261 ②25～52 ③65～72 ④99～106 ⑤107～119 ⑥247～261

<p>●「評論解析」3 単元 (12 教材)</p>	<p>①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、「評論解析」3 単元を設け、多彩な内容を持つ 12 教材を配した (第 1 号)。 ②デザインと人間の営みの関係について考える教材「マヨネーズの穴から」を配した (第 2 号)。 ③グローバル化を考える教材「グローバル化と『文脈』」を配した (第 5 号)。 ④文化を考える教材「アラビア語を学ぶ」を配した (第 5 号)。 ⑤生物の多様性と普遍性を考える教材「生物多様性と科学」「ヒトの『進化』と普遍性」を配した (第 4 号)。</p>	<p>①評論解析 A～C ・ 56～63 ・ 120～127 ・ 222～231 ②56～57 ③120～121 ④126～1267 ⑤226～231</p>
<p>●「体験と思索」2 単元 (4 教材)</p>	<p>①自主および自律の精神を養い、人生や職業について考えを深められるよう、「体験と思索」2 単元を設け、多彩な内容を持つ 4 教材を配した (第 2 号)。 ②人生における読書の意味について話し合う教材「読書は必要か?」を配した (第 1 号)。 ③平和を考える教材「アリュージョン、老兵の夢と闇」を配した (第 5 号)。</p>	<p>①体験と思索 I～II ・ 12～23 ・ 128～147 ②18～23 ③128～139</p>
<p>●「実社会」3 単元 (10 教材)</p>	<p>①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、多彩な内容を持つ 10 教材を配した (第 1 号)。 ②個人の創造性を培うとともに、自主及び自律の精神を養う教材「文化祭を企画する」を配した (第 2 号)。 ③国際社会における人の移動や国境について考える教材「出国手続きを考える」を配した (第 5 号)。 ④バリアフリーの現状と過去の違いを比較することで、社会のあるべき姿について考える教材「新聞記事からバリアフリーを考える」を配した (第 3 号)。 ⑤税金を題材にして主体的に社会に参画することについて考える教材「納税は義務か」を配した (第 3 号)。</p>	<p>①実社会 I～III ・ 86～98 ・ 182～200 ・ 262～275 ②89～92 ③182～184 ④264～269 ⑤270～275</p>

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・ 認識や思考を支えるものとしての言葉の働きや、言葉の持つ豊かな可能性について興味・関心を広げられるよう、導入文として「わからないぐらいがちょうどいい」を設けた。
- ・ さまざまな情報の扱い方を身につけるために、複数のテキストで構成した教材（体験と思索 I 「読書は必要か?」、評論 IV 「食の履歴書」、実社会 II 「出国手続きを考える」など）を数多く設定した。また、見解の共通点や相違点を比べることを目的とした単元「評論解析 C」を設けた。
- ・ 12 の評論教材の前に「プロローグ解説」を設け、各評論で述べられているテーマや前提となる考え方についてわかりやすく解説を施し、現代社会を捉えるための一助とした。
- ・ 自分の考えを表現するための基礎的な方法を学ぶための「表現の手法 1～5」を設けた。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-65	高等学校	国語	現代の国語	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	現国 717	探求 現代の国語		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現と構成を持ち、主題や内容が明確で、適度な長さのものを厳選した。また、本文の学習をより深め、主体的な表現力養成を補佐するための資料として、教材間に「表現の手法1～5」を、巻頭巻末に「付録」を設けた。

## 2. 対照表

図書の構成・内容		該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容				配当時数		
単元	教材名		知識及び技能	A 話すこと 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	A	B	C
	評論を読み解く解析マスター	前見返し	(1)オカ(2)ア				—	—	—
	文章作法	付録	(1)カ(2)オ				—	—	—
	情報の扱い方	付録	(2)アイウ				—	—	—
	わからないぐらいがちょうどいい	8～11	(1)ア	(1)イ・エ			1		
体験と 思索Ⅰ	ふしぎと人生	12～17	(1)イウ	(1)ア・ウ			2		
	読書は必要か？	18～23	(2)ア(3)ア	(1)イ・エ			2		
	表現の手法1 スピーチ	24	(1)イエオ				—	—	—
評論Ⅰ	【プロローグ解説1】「ほどほどのデザイン」を読む前に	25	(1)ウ				2		
	ほどほどのデザイン	26～32	(1)イウ	(1)ア・ウ					
	【プロローグ解説2】「言葉の力」を読む前に	33	(1)ウ						
	言葉の力	34～55	(1)アウエ		(1)イ・ウ			4	
	【参考】〈知〉の深化 現代の詩 五編		—	—	—	—			
評論 解析A	マヨネーズの穴から	56～57	(2)ア			(1)ア・イ			0.5
	環境世界	58～59	(2)ア			(1)ア・イ			0.5
	紫外線	60～61	(2)ア			(1)ア・イ			0.5
	人類学から見た言語	62～63	(2)ア			(1)ア・イ			0.5
	表現の手法2 プレゼンテーション	64	(1)イエオカ				—	—	—
評論Ⅱ	【プロローグ解説3】「サイボーグとクローン人間」を読む前に	65	(1)ウ					4	
	サイボーグとクローン人間	66～72	(1)ウエ		(1)イ・ウ				
	【プロローグ解説4】「読む」を読む前に	73	(1)ウ						
	読む	74～85	(1)イウ	(1)ウ・オ			2		
	【参考】〈知〉の深化 「神様」		—	—	—	—			

図書の構成・内容		該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容				配当時数		
単元	教材名		知識及び技能	A 話すこと 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	A	B	C
実社会 Ⅰ	学級日誌を書く	86～88	(1)エ		(1)ア・エ			3	
	文化祭の企画と宣伝パンフレット	89～92	(1)エ		(1)イ・ウ			4	
	問いの立て方とオリジナリティ	93～98	(1)エ	(1)ア・エ			1		
評論Ⅲ	〔プロローグ解説5〕「経済の論理/環境の倫理」を読む前に	99	(1)ウ				2		
	経済の論理/環境の倫理	100～106	(2)エオ	(1)ア・オ					
	〔プロローグ解説6〕「遅れてきた『私』」を読む前に	107	(1)ウ				4		
	遅れてきた「私」		(1)ウエ		(1)イ・エ				
	〔参考〕〈知〉の深化 〈対談〉「社会」の誕生	108～119	—	—	—	—			
評論 解析B	グローバル化と「文脈」	120～121	(1)オ(2)ア			(1)ア・イ			0.5
	ゆらぎ	122～123	(2)ア			(1)ア・イ			0.5
	擬制から責任へ	124～125	(1)カ(2)ア			(1)ア・イ			0.5
	アラビア語を学ぶ	126～127	(1)カ(2)ア			(1)ア・イ			0.5
体験と 思索Ⅱ	アリュージョン、老兵の夢と闇	128～139	(1)ウエ		(1)ア・イ			4	
	レオーノフの帽子屋	140～147	(1)オ			(1)ア・イ			2
	〔参考〕I was born		—	—	—	—			
	表現の手法3 探究活動—テーマの設定と情報収集	148～150	(2)アイウエオ				—	—	—
評論Ⅳ	〔プロローグ解説7〕「食の履歴書」を読む前に	151	(1)ウ				2		
	食の履歴書	152～160	(1)ウ(2)エ・オ			(1)ア・イ			
	〔プロローグ解説8〕「わかろうとする姿勢」を読む前に	161	(1)ウ				2		
	わかろうとする姿勢		(1)ウオ			(1)ア・イ			
	〔参考〕〈知〉の深化 「白い蛾」	162～181	—	—	—	—			
実社会 Ⅱ	出国手続きを考える	182～184	(1)エ			(1)ア・イ			1
	求人票を読む	185～188	(1)イエ	(1)ア・イ			1		
	全国高校生「好きな漢字」総選挙	189～191	(1)ウエ		(1)ア・ウ			3	
	目の見えない人は世界をどう見ているのか	192～200	(1)ア(2)エ	(1)ウ・エ			2		
評論Ⅴ	〔プロローグ解説9〕「AIの判断」を読む前に	201	(1)ウ				1		
	A I の判断	202～206	(1)イウエ			(1)ア・イ			
	〔プロローグ解説10〕「言葉を学ぶとは」を読む前に	207	(1)ウ				2		
	言葉を学ぶとは—「言語ゲーム」の概念		(1)イウエ	(1)ア・エ					
	〔参考〕〈知〉の深化 「庭」	208～219	—	—	—	—			
	表現の手法4 さまざまな討論	220～221	(2)アイウエ				—	—	—
評論 解析C	我関わる、ゆえに我あり	222～225	(1)オカ(2)アウ			(1)ア・イ			2
	「私」が「主体」であるために								
	生物多様性と科学	226～231	(1)オカ(2)アウ			(1)ア・イ			2
	ヒトの「進化」と普遍性								
	表現の手法5 意見文を書く	232～234	(1)オカ(2)アウエ				—	—	—

図書の構成・内容		該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容				配当時数		
単元	教材名		知識及び技能	A 話すこと 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	A	B	C
評論Ⅵ	〔プロローグ解説11〕 「歴史は『今・ここ・私』に向かっては いない」を読む前に	235	(1)ウ						2
	歴史は「今、ここ、私」に向かっては いない	236～246	(1)オ(2)アウエ			(1)ア・イ			
	〔プロローグ解説12〕 「思想の出自」を読む前に	247	(1)ウ						
	思想の出自 〔参考〕 〈知〉の深化「現代の短歌十首」「現代の俳句十句」	248～261	(1)オ(2)アウエ —			(1)ア・イ —			2
実社会 Ⅲ	パンフレットを作る	262～263	(1)イエ		(1)イ・ウ			4	
	新聞記事からバリアフリーを考える	264～269	(1)イエ	(1)ア・エ			1		
	納税は義務か	270～275	(1)イエ	(1)ア・オ			2		
							20	30	20
							総計		70